

発 言 者	発 言 要 旨
井 上 委 員	<p>1 防災学習センターの運営について伺う。 京都市市民防災センターを視察したが、そこでは京都市消防局から関係者が派遣されてきているほか、消防OBの方が説明員として雇用されている。そういった方々の説明は緊張感が伝わってくる。本県の防災学習センターには、そうした防災や消防のキャリアを持った職員はどの位いるのか。</p> <p>2 大雪の対応について伺う。 自衛隊OBである危機対策幹はどのような役割を果たしたのか。</p> <p>3 自衛隊の災害派遣要請を出すプロセスや決断において危機対策幹の経験がどのように活かされたのか。</p> <p>4 2月の大雪の際に、秩父市は事前に避難所を設置していたのか。 秩父市が避難所を設けて孤立が懸念される地域の住民に避難してもらってれば、当該地域の除雪優先度を下げることができ、市内の除雪を優先的に行うなど、除雪優先順位の設定につながったのではないか。</p>
危機管理課長	<p>1 指導管理マネージャーが県内消防本部の消防長経験者で、その他に東京消防庁の防災館勤務経験者2人、県内消防署長経験者1人がいることから、臨場感は伝えられていると考えている。</p> <p>2 危機対策幹は、統括部の指令室長として現場のオペレーションを指揮した。また、救助事案について陸上自衛隊普通科第32連隊との情報交換を適宜行い、2月17日早朝には自衛隊の連絡員を危機管理防災センターに派遣してもらうなど、県、県警、自衛隊による連携は円滑に進んだと考えている。</p> <p>3 危機対策幹による陸上自衛隊との情報交換や助言を踏まえて、適宜、知事に状況を報告し、自衛隊の災害派遣要請の判断を行った。</p>
消防防災課長	<p>4 救助した高齢者を収容するため、福祉避難所として既存の福祉施設を利用した。一般的な避難所は設置していない。</p>
井 上 委 員	<p>1 秩父市の大雪対応について、事前に避難してもらうための避難所は設けていなかったということか。住民を先に避難させておけば、その道路の除雪を後回しにするなど除雪優先度が変わると思うが、どのような所感を持つか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
井 上 委 員	2 自衛隊OBの危機対策幹の果たした役割等をもっとPRしていれば、自衛隊との連携が取れていたとの印象を与えられたのではないか。
消 防 防 災 課 長	1 今回のケースは、事前の避難所設置ではない。また、委員御発言のとおり、事前に住民が避難していれば、除雪優先順位も変わったと考えられる。
危 機 管 理 課 長	2 マスコミ対応等について、今まで以上に気を配りながら対応していく。
井 上 委 員	今後の大雪対応における避難所設置の在り方について、市町村との連携の中で計画的に対応していくべきだったという今回の教訓を生かしていくべきだと考えるがどうか。
消 防 防 災 課 長	大雪被害の検証結果を受け、除雪の優先ルートを選定等も進めていきたいと考えている。避難所が設置されて住民が避難すれば、除雪ルートも変わってくると考える。今回の検証結果を受けて、県の地域防災計画に雪害対策を盛り込むが、県の地域防災計画だけを変えても実効性を持たない。市町村の地域防災計画にも反映されるよう働き掛けていく。その中で、早期の避難所設置も計画に盛り込むよう働き掛けていく。